

# 首都圏を支える

# 人になる



## 現役職員の皆さんに聞きました 関東地方整備局の仕事とは？

安全・安心な暮らしを支える  
緑の下の力持ち



災害が起きた際に  
人々を守る  
国土づくりに  
貢献できる

国が行う  
プロジェクトの  
計画から完成まで  
全てを見ることが  
できる



関東全体の社会、  
経済の活性化を  
担う仕事



関東地方整備局（港湾空港関係を除く）  
〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心 2-1  
さいたま新都心合同庁舎 2号館  
【事務系】総務部 人事課 管理係 [TEL 048-600-1322（直通）]  
【技術系】企画部 企画課 施策分析評価係 [TEL 048-600-1329（直通）]



関東地方整備局（港湾空港関係）  
〒231-8436 神奈川県横浜市中区北仲通 5-57  
横浜第二合同庁舎  
【事務系】総務部 人事課 人事係 [TEL 045-211-7409（直通）]  
【技術系】港湾空港部 港湾事業企画課 採用担当 [TEL 045-211-7417（直通）]



関東地方整備局  
ホームページ



関東地方整備局  
Facebook



関東地方整備局  
Twitter

# プロジェクトの完成に向けて、 チームの力を信じてゴールを目指す

## 『鬼怒川緊急対策プロジェクト』に携わって

平成27年9月の鬼怒川の決壊を覚えている方も多いでしょう。これを契機として始動したのが『鬼怒川緊急対策プロジェクト』(通称『キヌプロ』)です。

私が鬼怒川を管轄する下館河川事務所に副所長として赴任したのは平成29年4月。まもなく2年になります。あの日の雨が降っても鬼怒川が氾濫しないようにキヌプロのハード対策を具体化していくことに携わっています。

## 汗の結晶が現場でものになっていくのを見る醍醐味

副所長としての私の役割は、様々な役割を持った事務所の職員たちの力を一つにして、キヌプロを前に進めていくことです。キヌプロは2020年度完成に向けて緊急的・集中的に進められています。この目標の達成のためには皆が共通の目的に向かって効率的に動かなくてはなりません。多少無理をお願いする場面もありましたが、一人ひとりの責任感をベースにチームとしての総合力に助けられ、キヌプロはゴールに向かって着実に進んでいます。みんなの汗の結晶が現場でモノになっていくのを見るのは、まさにこの仕事の醍醐味です。

## 積み重ねてきたこと、当り前のことを続けていく大切さ

キヌプロに携わり、改めて災害対応について考えさせられます。災害の時、どういう行動を取るべきか、想像力を働かせ、日頃から頭の体操をして準備をしておく、実際の対応がかなり変わってきます。社会資本を整備することに併せて、災害時の対応も私たちの使命です。いざというときに役割を果たすためには、これまでの災害対応で得られた知見や準備を積み重ねていくことが重要です。当り前のことかもしれませんが、こうしたことを続けていくことが大切だと思っています。

私が(この世から)いなくなっても堤防やダムはそこに存在し、社会の役に立っている。そんな仕事、なかなか無いですね。誰が誉めてくれるわけじゃないけど、そう思って、心の中でニンマリするだけでいいんです。

決壊跡に復旧された堤防にて

この石碑は2017年に建てられた決壊の碑

石田 和也

Kazuya Ishida

下館河川事務所 副所長



# Disaster prevention

## 鬼怒川緊急対策プロジェクトとは

2015年の鬼怒川決壊による被害を二度と繰り返さないためのハード・ソフト両面からの対策である。



2015年9月、関東東北豪雨による鬼怒川の決壊。関東地方整備局が管理する河川の決壊は29年前の昭和61年小貝川決壊以来であった。



必要なのは、決壊した堤防の早急な復旧。14日間という短い期間で応急復旧を終え、翌年の6月、出水期に入るまでに堤防完成という目標を達成した。



キヌプロでは、ハード対策だけでなく、「逃げ遅れゼロ」を目指したソフト対策も同時に行っている。水害時に、自分自身とする標準的な防災行動を時系列的に整理したマイ・タイムライン。また、その作成を支援する「マイ・タイムラインプロジェクト」を学校の授業や防災教育も含め実施している。

## 石田副所長の「シゴトブリ」

益子 拓磨(下館河川事務所 調査課)  
※2015年度採用

広い視野と説明力の高さが、石田副所長の魅力です。多くの仕事をこなしながらも、仕事の相談では多角的な視点からの確な解決策を示してくれ、周囲への気配りの細やかさ、副所長のいるところ場の雰囲気明るくなることも尊敬しています。計画的に長期休暇も取得していらして、仕事とのメリハリの付け方が上手なところも見習いたい!!

技術職なので、公共事業に直接携われること、完成までの過程を体験できることがうれしいです。時に監督の立場でここはこうしたほうがいい、というやりとりができるのも、技術者としてやりがいを感じます。

ICT建機が活躍する利根川の堤防強化工事現場にて



## 島田 光之

Mitsuyuki Shimada

企画部 施工企画課 係長

関東地方整備局のBig Project 2 ● i-Construction

# 建設業界の今と未来を ICT施工の導入でどう活性化していくか

# i-Construction

## i-Constructionにおける私の役割

i-Constructionは、「ICTの全面的な活用」、「全体最適の導入」及び「施工時期の平準化」のこれら3つの施策をトップランナーと位置づけ、調査・測量、設計、施工、検査、維持管理から成る建設生産プロセス全体に取り入れ、建設現場の抜本的な生産性向上を目指す取り組みです。

私は、主に「ICTの全面的な活用」について担当しています。より高精度なICT施工の実現に向け、計測機材や施工機械などシステムの部分を要領(マニュアル)化するための調整やフォローアップ、また、近年の衛星測位技術やICT建機の動向の把握、調査などが仕事です。要領に沿って実際に工事が行われることになるので、ICT施工全体をコントロールする役割とも言えます。

## 現場のナマの声、本音がICT推進のカギ

1994年に採用ですので、すでにベテランの域といえるかもしれませんが、ICTは走り出したばかりで予備知識がなく、日々戸惑いっぱなしです(笑)。公共事業は基本「一品モノ」。ひとつとして同じ工事はありません。その都度勉強するしかない、今も肌で感じています。要領のフォローアップのためにも、現場にはよく行くようにし、ICT機器を使う施工業者の方の生の声、本音を聞き、より使いやすい要領や基準類の整備を行っていくことが重要です。

## さらなる普及・促進のためには

現場にいかにICTを浸透させていくかが課題です。職員や施工業者さん向けの研修や講習会の企画も行っていますが、ICT施工は、現場で施工する業者さんが導入してこそ成り立つもの。しかし、その多くは中小の建設会社で、現場条件や導入効果などがネックになって、ICTに触れる機会はまだまだ多くありません。そんな皆さんに、「ぜひ、ICTを導入したい」と思ってもらえるよう導入効果や要領類の整備などを行い、普及・促進に努めたいと思っています。現場に足を運び、声を聞き、学び、より使いやすくしていくことはパワーのいる仕事ですが、ICTによって建設業界の活性化に寄与できると思うと、この仕事に携われたことに誇りとやりがいを感じます。

## i-Constructionとは

国土交通省では、建設現場が魅力ある現場に変わっていくことを目指し、自動制御可能な建設機械等の先進的な技術の導入などにより、建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」を推進



熟練のオペレータでなくてもICT導入により正確な施工が可能に、なおかつ工期短縮などの生産性向上が期待



複数のモニターが設置されたICT仕様の建設機械の操縦席

## 島田係長の「シゴトブリ」

荒木 秀介(企画部 施工企画課)  
※2017年度採用

基準関係をよく把握していて、i-Constructionに関する質問に対する回答がすぐに出てくるところ、仕事を要領良くこなすところが周りの方から頼られるすごい方です。入省して初めての上司の1人であり、業務について様々なことを教えていただいて、尊敬しています。私も島田係長のように業務をこなしていけるようになりたいです。

# メンテナンスサイクルを回し 道路構造物の「健康」を守る

## 医者にかかる子どもを見守る親の心境

橋梁をはじめとする道路構造物の維持管理に携わって約12年になります。現在の担当業務は、道路構造物の維持管理、すなわち点検・診断・補修・補強等に係わる対外調整、予算、工事や業務のとりまとめです。

維持管理は、よく人の健康診断になぞらえられます。定期点検で悪いところを見つけ、記録し、治すべきところは治し、次の点検につなげる。このメンテナンスサイクルを回すことが私の役割、使命と捉えています。

時に医者にも例えられますが、手に負えない場合は大学の先生などに相談します。そのときの心境は子どもが医者にかかる親に近いかもしれません。

## 過去の情報をいかに未来につなげるか

東京国道事務所管内には、日本橋はじめ、歴史的に価値のある橋梁が多く、点検で発見した損傷を補修するとき、過去の資料がなく補修方法がわからないことがよくあります。そんなときは、同じ設計者による橋や同時代につくられた橋などを調べ、設計の考え方、材料等から補修方法を想定しなくてはなりません。そこは苦勞する点もありますが、先達は何を見、何を考えて設計し施工したのかを知る貴重な機会でもあります。そして、その情報をいかにして収集し、業務へ活用し、次につなげるか。それも日頃の業務の中で、常に意識しているところです。

## 道路構造物はオーダーメイド。個々の要因の見極めが大事

ひとつとして同じものがない道路構造物。同じ路線、同じ地区、同じ時期に建設されたものでも、劣化の程度はそれぞれ違います。それらを適切に見極めて適切に補修しなければ再発してしまう。まさに人間の体と同じですね。

維持管理は常に支障なく利用してもらうことが目的。そのためにはアンテナを高くして、いろいろなことに気付くようにし、早く対処なくてはなりません。一見地味ですが、奥が深く、そこがやりがいにもつながっています。



打音点検など人の手と経験で培われたカンが道路などの構造物の耐久性を支える

## 維持管理とは

社会資本の老朽化が進む中で、「国民の命を守る」観点から、社会資本の戦略的な維持管理・更新を推進することが必要となっている。あらゆるインフラの老朽化が進展する中で、維持管理の比重もまた大きくなることが想定される



建設機械を使用して安全に効率よく点検



## 松藤 洋照

Hiroteru Matsufuji

東京国道事務所 管理第二課 専門官

現場に赴く際に時間がある時にはこれまで携わった現場にも寄り添うようにしています。これまで携わった仕事の経過を見守ることができるのも、関東地方整備局の仕事のやりがいの一つです。

国道246号 玉川高架橋下の点検現場にて

## 松藤専門官の「シゴトブリ」

木下 剛志(東京国道事務所 代々木出張所 係長)  
※2008年度採用

構造物の劣化は見て初めて分かる事も多く、現地調査が重要ですが、積極的に現場に出ることはもちろん、自分の目で確認するよう臨むプロ意識の高さを見習いたいです。技術力の高さも尊敬しています。技術士資格を持ち、大学や研究機関での勤務経験から人脈も豊富。相談すると技術的な根拠を基に的確なアドバイスしてくれます。



ハツ場ダム夜間施工



荒川第一調節池(彩湖)

## 関東地方整備局の仕事・1 ● 河川

# River S.A.B.O.D.A.M 河川 — 安心して暮らせる基盤づくりの要。

川、ダム、砂防、海岸保全などのハード整備、そして河川整備計画や環境保全など様々なソフト対策を通じて、人々の生命や財産を守り、水と緑と共生する幸せを提供するのが、河川事業の使命です。



08 関東地方整備局の仕事・1 ● 河川

北区・子どもの水辺



小松川地区 高規格堤防事業



2003年度採用(事務)

### 水谷 大悟

Daigo Mizutani

江戸川河川事務所  
占用調整課 占用調整第一係長

#### 住民の方々からいただく「ありがとう」が励みになります

管轄している河川の利用申請を審査したり、様々な利用に対応したりと、河川法に基づく許認可や管理を担当しています。築堤などのモノづくりと違い、ソフト面で河川を守る仕事です。常に念頭に置いているのは「誰のための行政か?」ということ。入省したての20代の頃は、目の前の仕事で精一杯だったのですが、住民の方からの相談事などに対応するうちに、考えられるようになりました。「誰のため?」の思いが軸であれば、審査や対応にもブレがなくなりますし、地域が抱える問題を解決した時などに、住民の方からいただく「ありがとう」は、大きなモチベーションになります。今後も幅広い分野で経験・知識を蓄え、信頼される行政マンになりたいです。



1999年度採用(技術)

### 大浪 裕之

Hiroyuki Oonami

河川部 河川計画課  
総合治水係長

#### 自然が相手、どう出てくるかわからないところが面白い

総合治水対策と河川整備計画を担当しています。総合治水対策では計画を作成し、目標に対する進捗を管理。河川整備計画では、計画をつくるにあたり川の現状や課題を整理し、目標を定め、その達成のためにどんなメニューが必要かを考えます。自治体とも調整しますし、原案ができればパブリックコメントとして有識者や地域からご意見を募り、計画に反映します。今後20-30年を見据えた計画になりますので、川をよく知る必要がありますし、根拠や数字に間違いは許されません。でも、子どもの頃から好きだった川を仕事にできているので苦にはなりません。自然を相手にしているため「こう整備すればこうなる」とは限らないところも川の面白さ、魅力ですね。



1996年度採用(技術)

### 池上 清子

Kiyoko Ikegami

荒川下流河川事務所  
小名木川出張所 所長

#### 管理のポイントは「安全にケガなく」

荒川下流河川事務所の管轄のうち、最も河口部に近い区間の工事全般の監督、維持管理を行っています。出張所は現場や利用者が一番近い存在で、現場の最前線。安全に利用できることが最大のポイントです。苦情を言われることもあり都市河川ならではのホームレスの問題もありますが、不法工作物を撤去したり、工事が無事に完了したりすると「よくやった」と誉めていただけるのが、うれしいですね。やりがいを持って仕事をしていますが、辞めたいと思ったこともありましたが、でも様々な部署を経験する中でいろいろな方と出会い、この人とまた仕事がしたいという思いが支えになりました。この仕事で糧となったのは人との出会い。そのつながりは今でも私の財産です。



外環千葉県区間松戸IC周辺



【直轄診断】御鉢橋



国道20号通行規制

## 関東地方整備局の仕事・2 ● 道路

# 道路 — 経済そして暮らしの活性化を担う。

主要国道の改築や維持管理、都県道等への支援、幹線道路網の整備に関する調査・計画等を通じて、人・モノの流れを生み出し、関東全体の社会、経済を元気にすることが使命です。



外環中央JCTシールド投入



バスタ新宿(結節点事業)



2014年度採用(事務)  
**町田 真莉子**  
Mariko Machida  
高崎河川国道事務所  
道路管理一課

### 人々の生活に関わる責任もやりがいも大きな仕事です

入省後、最初に勤務した長野国道事務所用地買収、2年後に異動した本局総務部で給与業務、2018年から高崎河川国道事務所道路管理業務を担当しています。道路上に置かれた看板や、道路地下を使用する電線など、道路を使う占有物件に関する許認可が主な業務です。省として推進している「無電柱化」に必要な電線共同溝を整備する際の許認可にも関わっており、やりがいがあります。私のような事務官も実際に街に出て、占有物件の安全確認を行うので、自分が住民の皆さまの安全を守っていると実感できるのが関東地方整備局の良さだと思います。様々な業務を経験しながら知識を蓄え、将来は先輩たちのように頼りになる存在になりたいですね。



2014年度採用(技術)  
**浅井 雅司**  
Masashi Asai  
道路部 道路工事課

### スタートからファイナルまで見られるのが魅力

道路の新設あるいは改良工事を行う前の、設計や積算の審査を担当しています。事務所が工事を発注するにあたり、どのように積算しているのか、どんな設計を盛り込んでいるのかをチェックし、間違いがあれば指導します。事務所にいた頃は審査を受ける側でしたので、そのときに指導いただいたり教わったりしたことが今の仕事に生きていますね。事務所で現場を経験して今の仕事に就いて思うのは、関東地方整備局は発注から完成までの過程を見ることができ、しかもこれだけ規模の大きい事業は、他ではなかなか味わえないということ。自分が携わった仕事が進捗しているのを見て、やりがいを実感できるのが魅力だと思います。



1989年度採用(技術)  
**関 幸伸**  
Yukinobu Seki  
東京外かく環状国道事務所 工務課  
建設監督官

### 道づくりはまちづくり、だから夢がある

東京外かく環状道路と中央自動車道とをつなぐ中央JCT工事を監督する立場で業務を遂行しています。大きな現場であるだけに、事業に対する地元の心配を和らげることを大切にしています。不安をお持ちの方には面会もして丁寧にご説明することを心がけています。大変だと思われるかもしれませんが、理解を得ていく過程にはやりがいや面白さもあります。道をつくる仕事は、単に交通渋滞を緩和するというだけでなく、まちづくりだという意味合いも大きいと思います。東京外環は首都圏ネットワークを進化させる重要道路で、企業立地や地域の税収にも直結します。皆さんもその先に夢がある道づくり、まちづくりを自分の仕事にしてみませんか。



防波堤整備(鹿島港)



コンテナ船



大型クルーズ船(横浜港大さん橋)



国際海上コンテナターミナル整備(横浜港南本牧ふ頭)

### 関東地方整備局の仕事・3 ● 港湾空港

# 港湾空港 — 島国日本における人流・物流の生命線。

我が国の国民生活の安定や国際競争力を高めるために、先進的で信頼性の高い人流・物流のインフラ整備、貿易ネットワーク拠点の整備を進めることが使命です。



東京港沈埋トンネル整備状況



川崎港臨港道路(完成イメージ)



東京ゲートブリッジ



羽田空港D滑走路(棧橋部)



羽田空港



2015年度採用(事務)

## 伊藤 花帆

Kaho Ito

港湾空港部 港湾管理課  
管理係

### 「港に携わる」。責任が大きいからこそ充実もある

港の整備や保全に関する補助金の交付をはじめ、花火大会やマルシェなど港の占用許可、港湾内の埋め立ての認可、そして港湾施設の管理に関する監査などを行っています。港湾管理者である地方自治体などから問い合わせや助言を求められることも多く、港湾法を根拠にした回答が必要となるため、慎重な対応が求められます。でも決して堅い仕事でも、職場でもありません。仕事の方針はまずは自分で立てますが、迷いや疑問には上司が相談に乗ってくれ、フォローもしてくれます。女子会など同僚とのアフターファイブも楽しいですね。島国の日本では港が生活の基盤とも言える重要な存在ですので、やりがいのある仕事に就けたと思います。



1987年度採用(技術)

## 藤井 久

Hisashi Fujii

東京空港整備事務所  
第二工務課長

### 誰もが知る羽田空港の仕事に携わる誇り

羽田空港の様々な工事関係の積算を担当しています。滑走路の補修・改良、国際線と国内線地区を結ぶトンネルのシールド工事、地震対策のための地盤改良、羽田空港と川崎を結ぶ橋の道路工事など、業務は多岐にわたります。ご存知のように、羽田空港は24時間稼働する空港ですので、工事をするにも夜間だけ、決まった時間内に必ず終わらせなくてはならないなど、条件が厳しく予算規模も大きいので責任重大です。でも、その分達成感も、そして誰もが知る羽田空港の利便性向上に寄与できたというやりがいも大きいです。国の中でも、関東地方整備局は事業規模では一番だと思います。大きな規模の仕事をしたい人は、ここでぜひ、実現させてください。



2002年度採用(技術)

## 佐伯 祐介

Yusuke Saeki

京浜港湾事務所 第一建設管理官室  
地域振興係長

### 世界を相手に戦うビッグプロジェクトが魅力

港湾計画を実行するにあたり、現場でどう施工していくかなど、整備に向けた計画づくりを担当しています。今、「国際戦略港湾」である横浜港に、新たに埋め立てを行って高規格のコンテナターミナルをつくる計画が動いています。ライバルは国内はおろか世界の主要な港湾です。こうしたビッグプロジェクトを自分の仕事にできることが大きな醍醐味ですね。土木の世界は経験値も大切で、仕事は一人ではできません。でも心配することはありません。上司や先輩は的確なアドバイスをくれます。関東地方整備局には「関東」を超えたスケールの仕事があります。ぜひこの職場に飛び込んでスケールの大きさを実感してください。



2016年7月に世界文化遺産登録された国立西洋美術館(免震工事完了直後)



横浜質地方合同庁舎

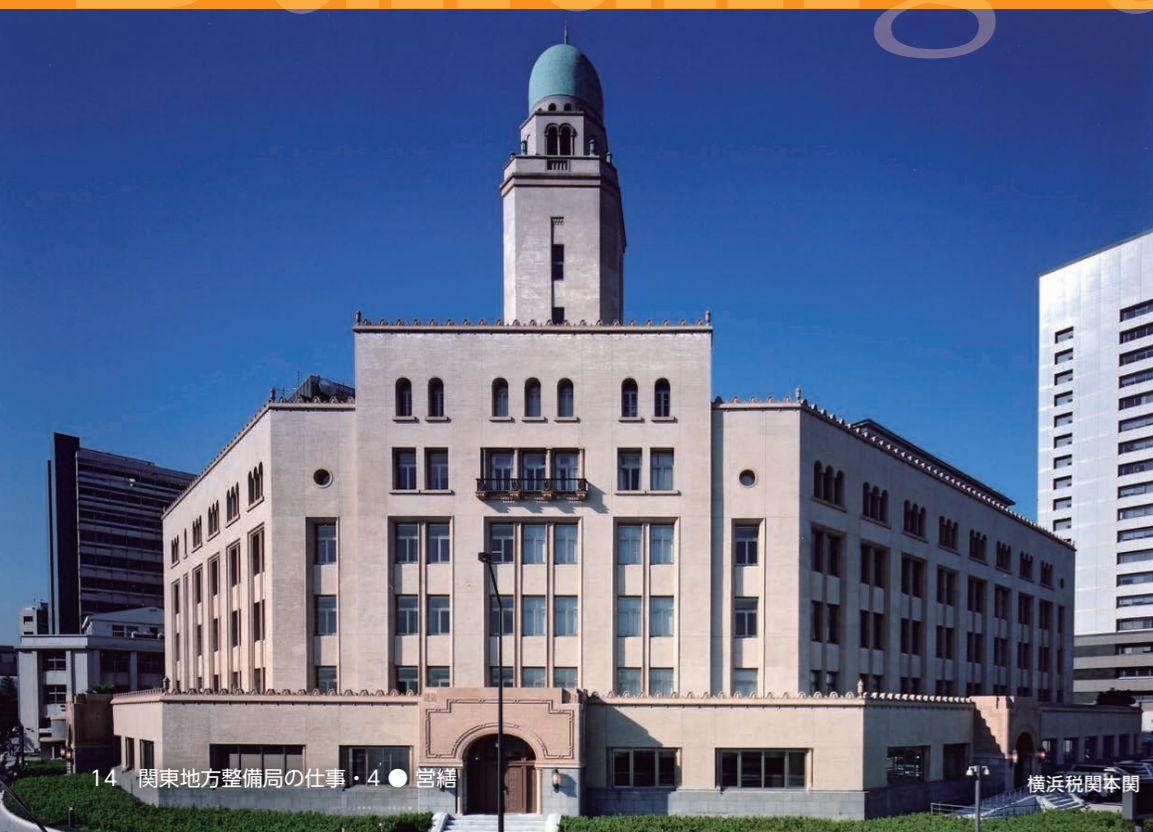


国立近現代建築資料館

関東地方整備局の仕事・4 ● 営繕

# 営繕 — 国家機関の建築物のトータルコーディネーター。

国民の共有財産である官庁施設、教育、研修施設などの企画、設計、工事監理、保全指導を通じて、公共建築分野において常に先導的な役割を果たすことが使命です。



横浜税関本関



前橋地方合同庁舎



2016年度採用(技術)

**森田 洋介** 建築

Yousuke Morita

営繕部 整備課  
建築設計審査第一係

**経験を積み、コーディネートできる力を身に付けたい**

公共施設の新築および改修工事の設計を中心に担当しています。大学の建築科で木造建築を学んだので、木造の庁舎を受注した際、立候補して設計を担当させていただきました。わからないことは聞きやすい環境なので、直属の上司をはじめ、いろいろな方に教えていただき、設計通りにいかずに再検討したことも含め、貴重な経験となりました。このとき、痛感したのは自分の経験値の低さです。3年目なので仕方がない部分もありますが、今後は、異動をしながら、企画や積算等、建築現場の監督、保全など、いろいろな業務の経験を積み、培った経験をもとに、オールラウンドに仕事ができる人材に成長したいと考えています。



2001年度採用(技術)

**霜鳥 陽平** 機械

Yohei Shimotori

営繕部 整備課(設備班)  
専門員

**首都圏の重要な施設の整備を担当する誇りを胸に**

設備班の機械職として、国の機関が入居する官庁施設の空調設備や給排水設備、消防設備、エレベーター設備など建築設備の工事の発注や、設計図の確認などを担当しています。関東地方整備局は、国土交通省以外にも、他の省庁の建物も担当しています。さらに、国の人口の約4割が集中する首都圏で、事務庁舎のみならず、研究施設や防災拠点となる重要な施設など、さまざまな施設を担当するので、やりがいは大きいですね。技術者として担当した施設が形になって、施設の管理者や入居者、来庁者のみなさんに、空調や水回りなどで快適な環境を提供できた時、そして、それが良質な公共サービスにつながっていると実感した時は、やはり嬉しいですね。



1990年度採用(技術)

**五十嵐 健一** 電気

Kenichi Igarashi

営繕部 整備課(設備班)  
営繕設計審査官

**多くの人と接しながら、一つの目標を成し遂げるやりがい**

電気設備の設計、図面の審査、業務を発注する際の手続きなどを担当しています。営繕部では、各省庁の様々な業務にあった庁舎の整備が求められるため、国土交通省の職員だけではなく、他省庁の職員、設計事務所や施工者などいろいろな立場の人に会い、意見や考え方を聞けることも魅力です。しかし、限られた時間や予算で多くの関係者の声を聞き、スピード感を持ってマネジメントすることは大変です。それでも無事に庁舎が完成し、庁舎を使う省庁の職員や地域の皆様、みんなに喜んでいただいた時、自分の仕事のやりがいを感じます。エネルギーあふれる若い方々に、多様な人々と共に一つの目標を成し遂げる喜びを感じて、活躍していただきたいですね。





平成30年7月西日本豪雨



平成30年7月西日本豪雨

関東地方整備局の仕事・5 ● 防災

# 防災 (TEC-FORCE) — 1日も早い被災地復興を支援する。

関東地方整備局は、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)を平成20年に創設。大規模自然災害時に現地に飛び、被災地の復興を技術面でサポートすることが使命です。



平成30年7月西日本豪雨



平成30年北海道胆振東部地震にて自衛隊と協議



2015年度採用(技術)

**宮崎 雄祐**

Yusuke Miyazaki

宇都宮国道事務所  
管理第二課

「できることをすればいい」その言葉が励みに

平成30年7月西日本豪雨の被災地である広島県東広島市に、TEC-FORCEの一員として派遣されました。担当した業務は、被災箇所の現地計測や被災状況調査表、概算被害額算定書の作成です。派遣は初めてでしたので、自分に何ができるだろうと最初は不安だったのですが、「無理をする必要はない、自分のできることをすればいいんだ」と、派遣経験のある先輩が励ましてくれたおかげで頑張ることができました。土地勘もなく、猛暑の中での作業は大変でしたが、地域の方が親切にしてくださり、自治体の方も感謝して下さったことがうれしかったです。同時に、被災地を支援するという関東地方整備局の存在意義を実感しました。



2003年度採用(事務)

**古田 将也**

Masaya Furuta

用地部 用地企画課  
調整係長

事務系職員でも被災地で活躍できる

平成28年熊本地震、平成30年西日本豪雨と北海道胆振東部地震で現地に赴きました。過酷な環境の中で活動するTEC-FORCEの様子を記録し、本部に報告するのが主な任務でした。事務系の職員もTEC-FORCEに?と思われるかもしれませんが、資材調達など事務官としての業務はTEC-FORCEの現場にもありますし、危険を伴う現場で判断に迷うケースでは事務官の立場での意見を求められるなど、必要不可欠な存在です。派遣されて感じたのは、災害現場は地域の方々にも最も近いということ。直接言葉を交わすことも多く、安心感を持っていただけたことを実感しました。私たちの業務は社会のためという目的で買われていることを再認識することができました。



1978年度採用(技術)

**鶴巻 和芳**

Kazuyoshi Tsurumaki

河川部  
河川保全管理官

培った技術と経験で、二次災害を未然に防ぎ、人命を守る

北海道胆振東部地震、西日本豪雨、九州北部豪雨、熊本地震、関東・東北豪雨、東日本大震災など、全国各地の大規模土砂災害等の被災地に11回(延べ66日間)赴き、砂防班の班長として、土砂災害の危険箇所の緊急点検と危険度判定、二次災害を防ぐための応急対策計画の策定などを行ってきました。技術者として、いち早く全国の被災地の復旧復興に貢献でき、二次災害を未然に防止できることにやりがいを感じています。近年は、被災地の首長へのサポートをはじめ、TEC-FORCEへの依頼内容も多様化しているため、ニーズに応えられる人材の育成が必要。災害が起きた時に「自分が助ける!」という意気込みをもつ職員が増えることを期待しています。



2017年度採用(技術)

鶴田 碩信

Sekinobu Tsuruta

甲府河川国道事務所  
防災課

### ここでなければ味わえない達成感がある

建設中の中部横断道路に付随する情報板や照明、ラジオ放送設備などの電気設備の設計や積算を担当しています。大学で電気を勉強したものの、道路の設備は全く知らない世界。失敗しつつひとつひとつ勉強している状況ですが、学んだことが業務の意味の理解に直結するのは快感ですし、やっぱりものが出来ていく過程を見られるのは、大きなモチベーションになります。

自分が設計した照明設備が灯るのを見たときは「やってよかった」と感無量でした。これは、ほかの機関の電気職では味わえない、関東地方整備局ならではの魅力だと思います。



2017年度採用(技術)

山口 さくら

Sakura Yamaguchi

企画部  
情報通信技術課

### イチから学ばせてくれる職場です

無線局の検査、情報通信網の管理を担当しています。災害訓練などで衛星通信システムを使う場合に、西日本で衛星通信システムを管理している近畿地方整備局と協議して予約を入れたり運用したりといったことも行っています。時に現場で自分が運用しているシステムが使われているのを見ることがありますが、やりがいを感じてモチベーションが上がりますね。

入省するまで電気や情報通信の知識はほとんどなかったのですが、イチから学ばせてもらえました。災害時にもどう復旧するのか仕組みを知ることができ、その中で自分も対応できる、役に立てることがあるのは、大きな発見でした。



2010年度採用(技術)

猿ヶ澤 正人

Masato Sarugasawa

企画部  
情報通信技術課

### 現場をこれだけ持っている関東地整はレアケース

パラボラアンテナや多重無線、雨量計や水位計などの設備で無線を使用する際、管轄する総務省へ申請する窓口業務を担当しています。こうした対外的な業務というのは関東地方整備局では珍しく、また電波法などの法律を知らなければ違法になってしまうので、情報通信を取り巻く決まりごとをいかに把握するかが重要になります。

以前所属していた道路事務所では、建設中の道路の設備にも携わりましたが、これだけスケールの大きいものづくりに関われる職場は少ないと思います。公共の機関で、電気通信の現場を多く持っているのも、関東地方整備局の特色ですね。

関東地方整備局の仕事・6 ● 電気・電子・情報

# 情報通信技術が 社会を支える。

最新の情報通信技術とネットワークで国土交通行政を支えています。



非常用発電設備

川治ダム放流

水門設備工場立会い

現地立会い

トンネル照明設備

水門設備工場立会い

ポンプ設備据付

情報通信設備

LED道路照明灯

放流設備点検

若手職員勉強会

あおぞら号

レーダー施設

TEC-FORCEの活動状況

道路情報板

関東地方整備局の仕事・7 ● 機械

# インフラを動かし 社会を支える。

確かな技術でインフラを正常に稼働させ、安全で安心な暮らしを支えています。



2018年度採用(技術)

黒木 和音

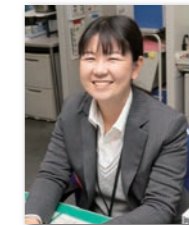
Kazune Kuroki

荒川下流河川事務所  
施設管理課

### ぜひ現場を見てください

水門や排水機場などの河川管理施設の操作や点検、発注などの業務を担当しています。1年目なのでわからないことも多く、毎日が勉強ですが、わからないことがあればいつでも聞いてくれる上司や先輩に恵まれて、少しずつ業務の意義や必要性を理解できるようになってきました。

そんな毎日の中で実感したのは、入る前に現場を見ておけばよかったということ。「知る」ことの大切さを実感しているため、現場を見ることができイベントに参加していれば、現在の業務にもずいぶん役立ただろうと思います。ぜひ、機会があれば、イベントや見学会をのぞいてみてください。



2014年度採用(技術)

柴田 真希

Maki Shibata

企画部  
施工企画課

### 女性であっても男性と肩を並べて働ける

建設機械や災害対策用機械の購入、運用を担当しています。実際に使用する事務所のニーズや条件、使い方に合った機械を選択することがポイントなので、現場のニーズを正確に把握するための下調べ、最新情報の収集、事務所との情報共有が重要です。たとえば、昨年と同じ機械を購入するとしても、「この現場だったらこういうオプションがあったらいいのでは」といった発想、よりよく使える工夫が大事だと思っています。

女性の技術者が少ない中、入省を躊躇する女子学生の方がいるかもしれませんが、ここは男性と肩を並べて働ける職場です。不安がらずに、ぜひ、一緒に頑張りましょう。



2002年度採用(技術)

吉崎 雄一

Yuichi Yoshizaki

相模川水系広域ダム管理事務所  
施設管理課 機械係長

### 活躍できる場が必ず見つかる

放流設備を含むダムの設備全般の操作や維持管理、点検の発注・監督に加え、宮ヶ瀬ダムの特徴である観光放流の操作や見学会の説明なども行っています。放流設備の操作ミスは人命に関わりますし、水は財産の一部、無駄な水は一滴も流せないという気持ちで、常に細心の注意を払っています。

機械は川や道路に関係なく、いろんなフィールドで活躍できるのが魅力だと思います。同じ川でも事務所によって課題も違い、常に新しい知識を吸収する必要がありますが、それだけに活躍できる現場が必ずあります。少しでも関東地方整備局に興味のある方は、ぜひチャレンジしてほしいと思います。



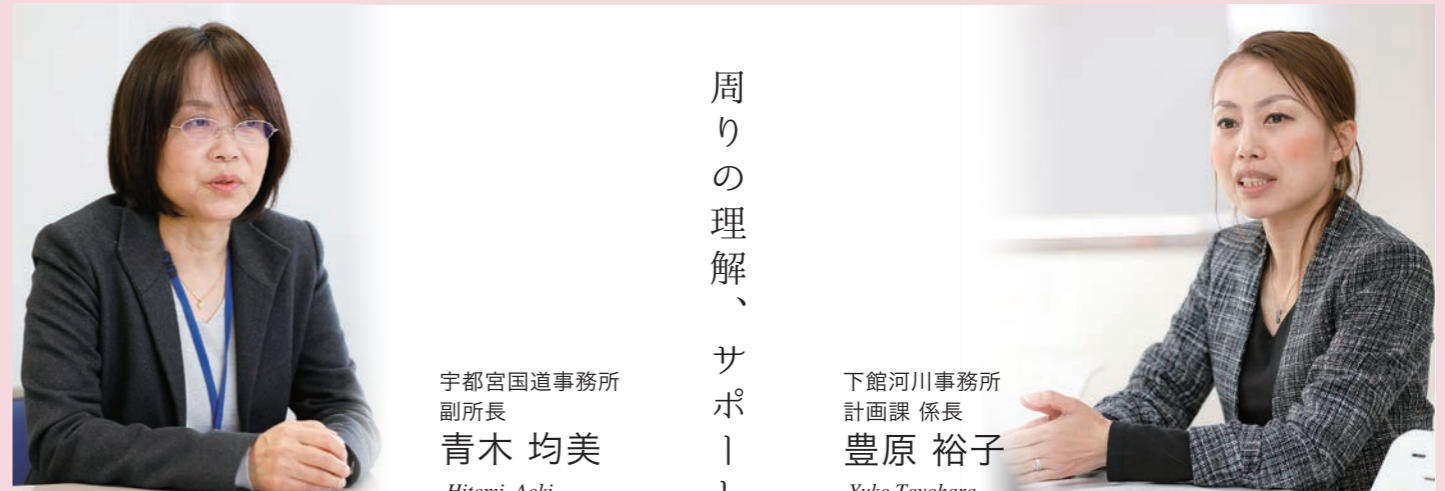
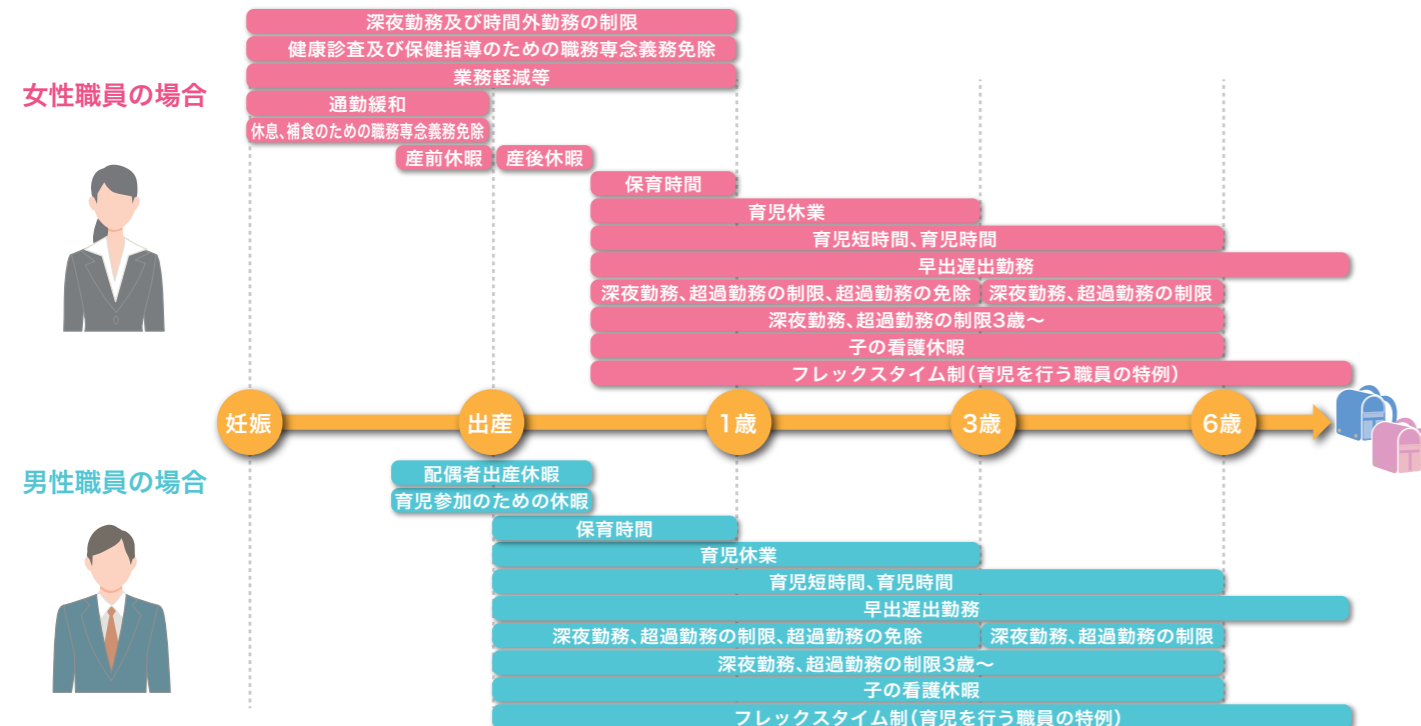
# 誰もが働きやすく、長く勤め続けられる職場づくり。

結婚、子どもの誕生、親の介護などの際にも仕事が続けられるように、関東地方整備局では、ワークライフバランスの推進に取り組み、仕事と家庭の両立を支援しています。

## ●育児・介護の主な制度

<b>産前休暇</b> 産前6週間前(多胎妊娠の場合は14週間前)から休業できる制度	<b>産後休暇</b> 産後8週間まで休業できる制度	<b>配偶者出産休暇</b> 妻の出産に伴う入退院の付き添い等のために休業できる制度(2日)	<b>育児参加のための休暇</b> 妻の産前産後期間中に未就学児を養育できる制度(5日)
<b>子の看護休暇</b> 未就学児を看護するため年5日休業できる制度(子が2人以上の場合は10日)	<b>育児休業</b> 3歳未満の子どもを養育するために休業(3年)できる制度	<b>育児短時間勤務</b> 勤務時間を1日3時間55分(週19時間35分)等に短縮で勤務することができる制度	<b>育児時間</b> 1日2時間まで勤務しないことができる制度
<b>介護休暇</b> 家族の介護のため通算6ヶ月休業できる制度(3回まで分割可能)	<b>介護時間</b> 家族の介護のため連続3年の間で1日2時間まで休業できる制度	<b>短期介護休暇</b> 家族の介護のため年5日休業できる制度(要介護者が2人以上の場合は10日)	
<b>早出遅出勤務</b> 始業・終業時間を繰り下げまたは繰り上げできる制度(未就学児の養育、小学生の放課後児童クラブへの送迎、父母の介護などの場合)	<b>休憩時間の短縮</b> 職場にいる時間を短縮できる制度(未就学児の養育、小学生の送迎、家族の介護、妊娠中通勤配慮等)	<b>フレックスタイム制</b> 総勤務時間数を変えずに、日ごとの勤務時間数・勤務時間帯を変更できる制度	妊娠・出産 育児 介護 その他

## ●育児に関する両立支援制度の利用可能期間



宇都宮国道事務所 副所長 青木 均美 Hitomi Aoki

下館河川事務所 計画課 係長 豊原 裕子 Yuko Toyohara

周りの理解、サポートに支えられて

Q 関東地方整備局の「ここが女性にとって働きやすい」というところは?

制度そのものが整っていて働きやすいところです。それに、上司はじめ同僚など周りのサポートやフォローがあるところが大きいですね。出産のときはもちろん、復帰してから子どもが小さいうちは急に熱を出したりして、休まなくてはならないときも助けていただきました。制度があっても利用できない、というケースも現実的にあると思いますが、どの職場でも、それはなかったですね。

Q 利用したことのある両立支援制度を教えてください

今のように両立支援制度が充実していませんでしたが、子どもが二人いるので、産前産後休暇と育児休業をそれぞれ2回利用しました。

Q 子育てしながら仕事を続ける上で困難だったことは?

幸い子どもは大きい病気をしたこともなく、学校に行きたくないなどと言って困らせることもなかったので、さほど困難ということはありませんでした。強いて言えば、保育園のお迎えが遅くなって先生にチクリと言われたことくらい。確かに大変でしたが、今振り返ればとても充実していたし、いい思い出です。

Q 女性職員でも役職に就けた理由を自己分析すると?

女性・男性に限らず、それぞれ希望も事情も違うので女性職員だからということはないと思います。私の場合は、いろいろなポストを提示される中で、自信がなかったり、できるのだろうかと悩んだりしましたが、その時々で背中を押してくださる方がいて、それで一歩を踏み出すことができました。やっぱり周りの人に助けられたことが大きいと思います。関東地方整備局はチームで動く職場ですから、自分も協力できることはする、「その時々でお互い様」という気持ちでみんな仕事をしていると思います。

Q 未来の後輩のみなさんにメッセージをお願いします

関東地方整備局は、私のように出産・育児を経験しても働き続けることができる職場です。長いスパンで考えていただいて、ぜひ入省してください。地方整備局の中では比較的女性が多いほうですが、これからもどんどん女性に入っていってほしいと思っています。一緒に仕事ができることを楽しみにしています。



ふたりのお嬢さんの子育て真っ最中の頃

Q 関東地方整備局の「ここが女性にとって働きやすい」というところは?

いい意味で差別がないところですね。私が入省したときは技術系の女性はまだ少なかったのですが、女性だからと特別扱われることなく、自然体でいられました。

Q 利用したことのある両立支援制度を教えてください

育児休業、産前産後休暇です。有休とは別に看護休暇や健康診断のための休暇も取れるので制度としては充実していると思います。

Q 周りの理解の面ではいかがでしたか?

協力的ですね。「子どもの参観なので有休をとらせてください」と言っても嫌な顔をされたことは一度もないです。私と同じように子どものいる女性職員と会う機会が少ないので、男性の上司によく相談しているくらいです。まだ子どもを産む前に、当時の男性の係長にも出産を含めたこれからの人生プランを聞いてもらっていたことで、子どもを産む後押しにつながったと思います。

Q 仕事と子育ての両立で大変だったことは?

うちは三人、子どもがいるんですが、保育園の慣らし保育で病気をもらってきて三人とも入院したときはしんどかったですね。一気ならまだしも、順番に病気になったので、1ヶ月間ほど仕事と看病と家事で、てんてこ舞いでした。

Q 仕事を効率よくこなしていくためにしたことは?

仕事が好きだから頑張りたい、でも周りに迷惑をかけているんじゃないかと気を使ってしまう部分もあったので、その意味でも効率にはこだわりました。徹底したのは、優先順位をつけて、先を見通して、書類にしても誰が見てもわかるように、手戻りなく無駄なく、ということです。疲れることもあったけれど、今の自分の成長につながっていると思います。

Q 未来の後輩のみなさんにメッセージをお願いします

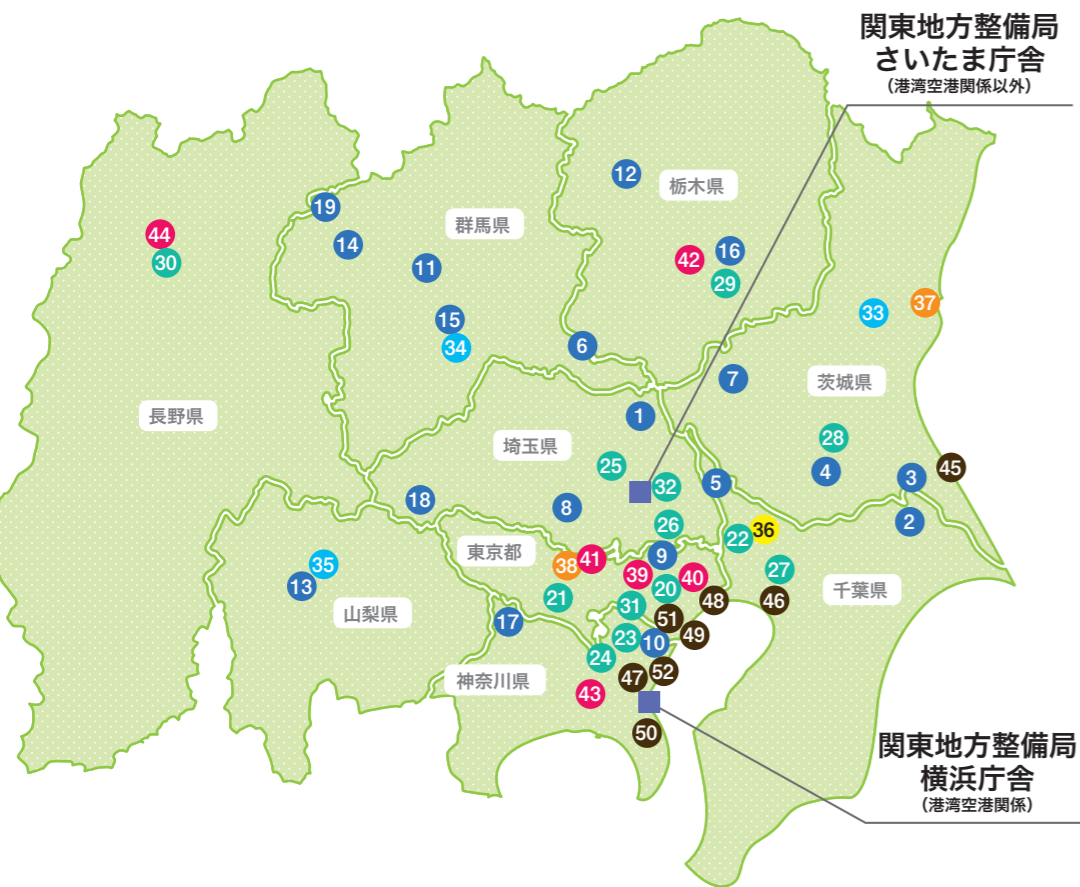
自分の目指したい道を選んでいける場所だと思います。伸びたい、成長したいと思ったらスキルアップできる職場です。チャレンジしたい人はぜひ入ってほしい。私も「こういう人がいるから私も頑張れる」と思ってもらえるように頑張ります。



現在小学校1年生になった三人のお子さんと

# 首都圏を擁する関東。その安全・安心・快適な暮らしを支え、守ること。それが使命です。

河川や道路、ダム、港湾空港、公共施設の建築、まちづくり、それらを支える電気、機械など、幅広い事業を通じて、関東に生きる人々の暮らしを守り、支え、継続させていくこと。首都機能を維持し活性化させること。それが、関東地方整備局の使命です。

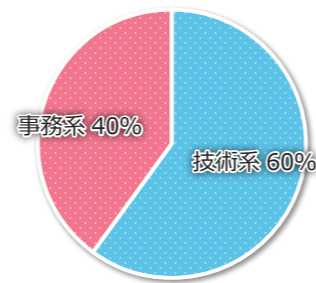


## ●フィールド

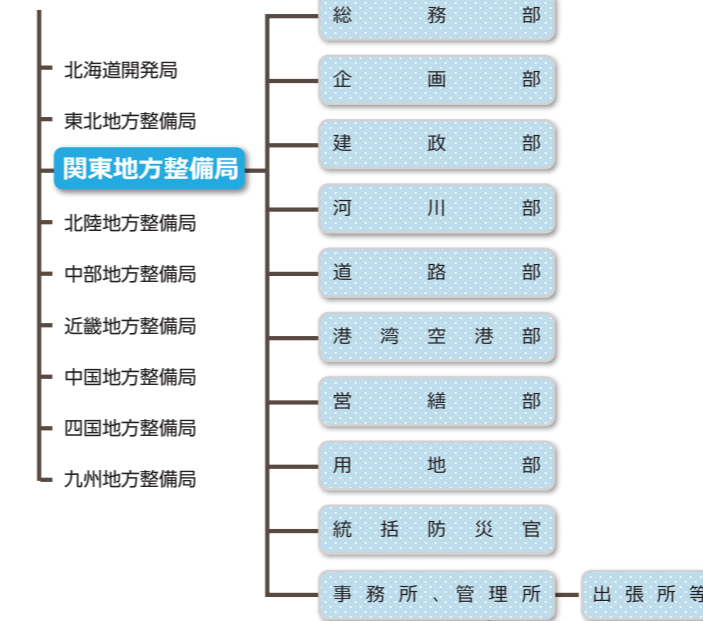
関東地方整備局は、関東地方の茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県を管内とし、52の事務所と129の出張所から構成されています。

## ●職員数と人員構成

関東地方整備局全体で約4000人の職員がおり、約4割が事務系職員、約6割が技術系職員です。



## 国土交通省

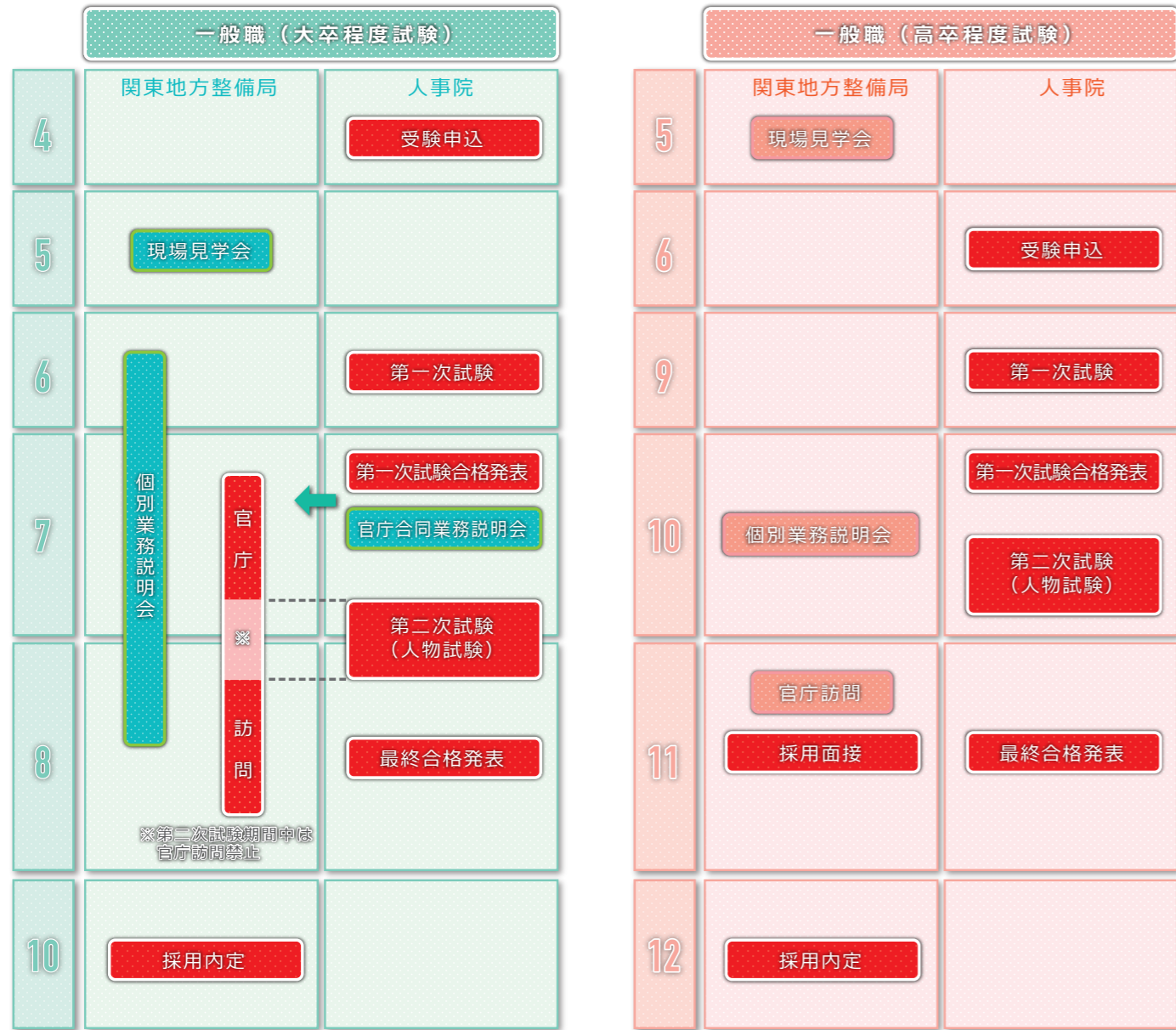


- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1 利根川上流河川事務所      | 33 常陸河川国道事務所     |
| 2 利根川下流河川事務所      | 34 高崎河川国道事務所     |
| 3 霞ヶ浦河川事務所        | 35 甲府河川国道事務所     |
| 4 霞ヶ浦導水工事事務所      | 36 関東技術事務所       |
| 5 江戸川河川事務所        | 37 国営常陸海浜公園事務所   |
| 6 渡良瀬川河川事務所       | 38 国営昭和記念公園事務所   |
| 7 下館河川事務所         | 39 東京第一営繕事務所     |
| 8 荒川上流河川事務所       | 40 東京第二営繕事務所     |
| 9 荒川下流河川事務所       | 41 甲武営繕事務所       |
| 10 京浜河川事務所        | 42 宇都宮営繕事務所      |
| 11 利根川水系砂防事務所     | 43 横浜営繕事務所       |
| 12 日光砂防事務所        | 44 長野営繕事務所       |
| 13 富士川砂防事務所       | 45 鹿島港湾・空港整備事務所  |
| 14 八ッ場ダム工事事務所     | 46 千葉港湾事務所       |
| 15 利根川ダム統合管理事務所   | 47 京浜港湾事務所       |
| 16 鬼怒川ダム統合管理事務所   | 48 東京港湾事務所       |
| 17 相模川水系広域ダム管理事務所 | 49 東京空港整備事務所     |
| 18 二瀬ダム管理所        | 50 東京湾口航路事務所     |
| 19 品木ダム水質管理所      | 51 特定離島港湾事務所     |
| 20 東京国道事務所        | 52 横浜港湾空港技術調査事務所 |
| 21 相武国道事務所        |                  |
| 22 首都国道事務所        |                  |
| 23 川崎国道事務所        |                  |
| 24 横浜国道事務所        |                  |
| 25 大宮国道事務所        |                  |
| 26 北首都国道事務所       |                  |
| 27 千葉国道事務所        |                  |
| 28 常総国道事務所        |                  |
| 29 宇都宮国道事務所       |                  |
| 30 長野国道事務所        |                  |
| 31 東京外かく環状国道事務所   |                  |
| 32 関東道路メンテナンスセンター |                  |

## ●仕事の流れと担当



●採用スケジュール



現場見学会  
現場を実際に見ながら、国の事業のスケールを体感



官庁合同業務説明会（人事院）  
1次試験合格者に対して、業務内容等を説明



個別業務説明会  
現役の職員から、個別の業務や職場環境、日常生活などについてくわしく説明

●勤務条件

◆初任給

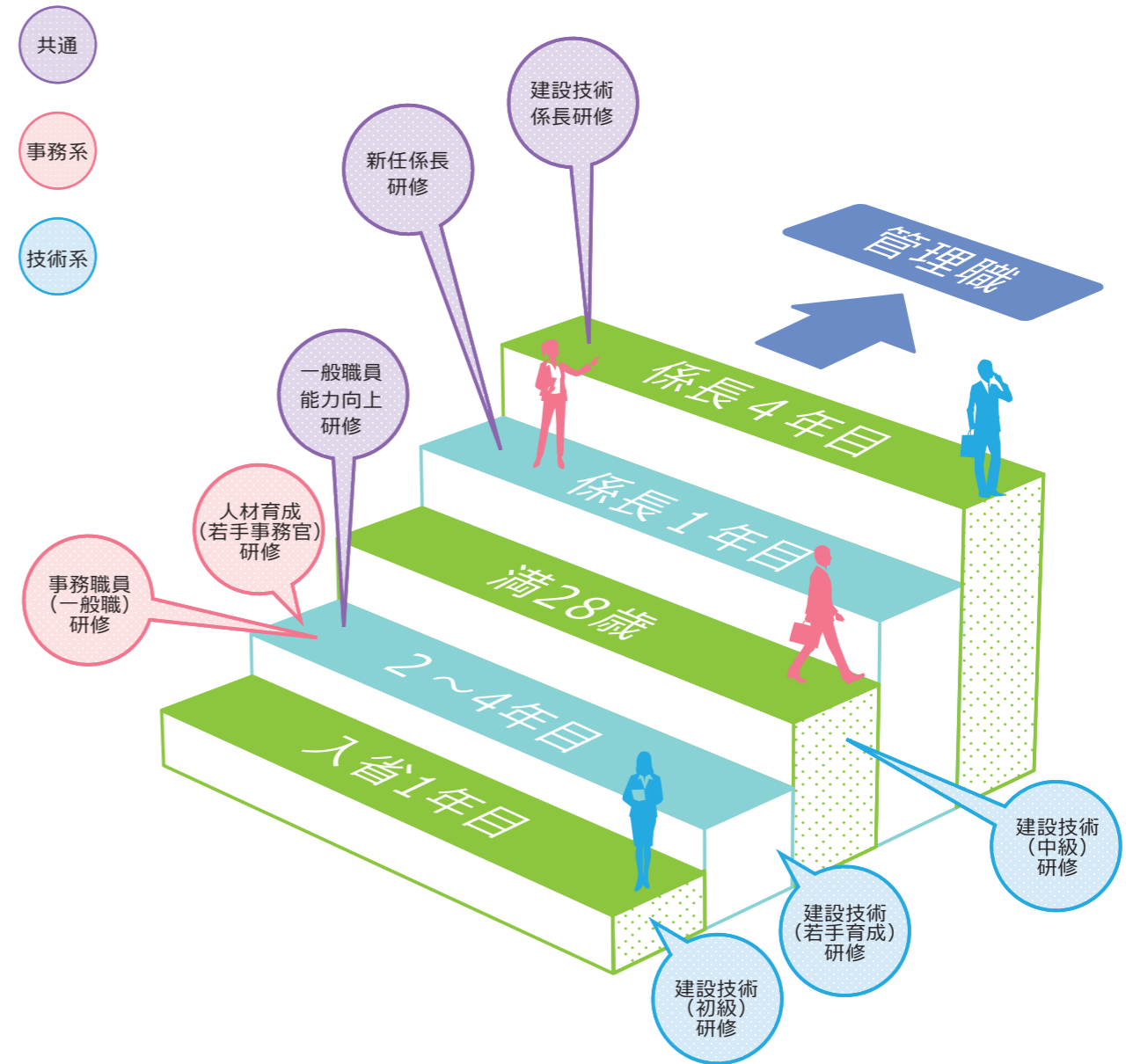
一般職（大卒程度）採用職員：216,840円  
 一般職（高卒程度）採用職員：178,320円  
 一般職（経験者採用【係長級（技術）】）：276,000円  
 ※平成30年度に東京都特別区内に勤務する場合  
 ※その他、通勤手当、超過勤務手当、扶養手当、住居手当、期末・勤勉手当などを支給

◆勤務時間

8:30～17:15（特別区、さいたま市、横浜市、川崎市内の勤務官署は9:15～18:00）  
 ※フレックスタイム制度あり

◆休日

土日および祝日（完全週休2日）、12/29～1/3  
 年次休暇は初年度15日、翌年から20日（年20日まで翌年に繰越可能）その他、結婚休暇、夏季休暇、出産休暇、ボランティア休暇、介護休暇など



新規採用職員研修（全体）



新規採用職員研修（班別討議）



建設技術初級研修



建設技術（若手育成）研修

◆研修内容

- 一般職員能力向上
  - 新任係長
  - 管理能力向上
  - 法務基礎
  - 用地・土地評価
  - 新任管理職
  - 契約基礎
  - 建設産業行政
  - 工事検査適任者
  - 土木技術全般（土質・コンクリートなど）
  - 現場係長（河川／道路）
  - i-Construction（監督・検査）
  - 建設技術（初級）
  - 維持管理（河川／道路）
  - 災害査定
  - 建設技術（若手育成）
  - i-Construction基礎
  - TEC-FORCE隊員（リエゾン）
  - 建設技術（初級）研修
  - 建設技術（若手育成）研修
  - TEC-FORCE隊員
- ：共通研修 ●：事務系研修 ●：技術系研修

その他、国土交通大学校、他省庁、全国建設研修センター主催の研修などを受講することができます。